

『ASP配車ガイドライン』

2019年12月改訂

「『ASPは法定速度での移動の徹底をしていきます。』」

…ツアーに関する配車に関するガイドライン…

ASPのツアーではメンバーの有志の車を提供して頂きゲレンデに行きます。

このガイドでは車を提供する方、乗車される方、配車を計画される方にサークルとしての基本的な考え方を説明しています。

【全メンバー様へ】

ASPツアーでは車を出す方、運転をする方、乗せてもらう人で成り立っています。

「道路交通法の厳守」「一般社会モラルの厳守」は当たり前ですが、車を出すのが嫌な人、運転をするのが面倒くさい人、後部座席で寝続けたい人ってたまにおられます。全て当然の気持ちです。

しかし、そればかりだと遥か彼方のゲレンデに到着することは出来ません。

全員の協力によりASPツアーが成り立っていると考えて心ある対応をお願いします。

【車出しをされる方】

車出しをされる方は運転交代者による自損事故に関しても保障される「車両保険」の加入をお願いします。

低年式の車で車両保険を未加入の車で運転交代される場合は、交代される方の他車運転特約で自損事故を起こした場合の補償の確認を行って運転交代をお願いします。

運転交代者がもしもの時に保障されない場合は、運転交代ができませんので、低年式車でもそのツアーだけ摘要される保険に加入願います。

また車両保険未加入の低年式の車両は賠償できませんのでそれでも良いと考えたうえで車出しを行って下さい。

事故は必ず起こります。

その時に保険が適用されないと人生が破綻する程の賠償が請求されます。

車出しの方は保険の的確な加入と運転交代者の他車運転特約の内容の確認をお願いします。

運転交代者は自分が運転していた時に起こる事故に対して保険の適用を確認して下さい。

その車のもしかの事故が起こるとサークルは何もできません。

車出しの方と運転交代さんの二者間での解決となりますので保険の確認は双方で必ず行って下さい。

☆1. 配車計画をされる方へ

【配車の考え方】

配車時に車を選定する時には交通費よりも安全を最優先に考えて下さい。

第一優先 スタッドレス・任意保険・車両保険・4WD

第二優先 ピックルルート(ICまでの逆走、大変なピックアップ)・運転歴

第三優先 乗車可能人数、燃料種別

安全性を重視し少々交通費が上がっても1BOXよりもワゴンなどを利用する場合も検討ください。

また、事故時のトラブル回避のため、任意保険&車両保険に加入している車両を極力選択してください。

車両保険は車対車限定の「エコノミータイプ」ではなく、全ての事故に対応できる「一般タイプ」を優先してください。

電車移動、自走、自走ピックアップ、事前ピックアップはできるだけ活用しましょう。

(電車移動はできるだけ乗り換えがないように組みましょう。)

事故が一番発生しやすいのは帰りのドロップです。

車出しの方が一番初めに出発して一番後に家に到着するようなピックアップルートはできる限り避けましょう。

車出しの方は推奨ピックアップ回数を2回として自走車の方はピックアップ推奨回数を1回として自走車と事前ピックアップ車と電車移動を活用して車出しの方の苦労を削減してください。

自走車があっても駐車場所がない場合は駐車場データベースを参考に一日最大額が設定されている有料駐車場を最大限活用(ツアー費計上)してください。

【保険の確認】

やむを得ず、一般車両保険に未加入の車両を車出しする場合は必ず他車運転特約と一般車両保険ともに加入して運転要員をシャッフル配置してください。

万一、この運転要員の保険を使用する場合、その人の加入している保険内容までしか保険がおりませんので注意願います！

例えば事故発生車両の修理費が100万円かかっても運転要員が加入している一般車両保険額が60万円なら

60万円までしか保険はカバーしてくれません！

残りの40万円は自腹で支払うことになりますので必ずツアーまでに運転交代要員と車出しオーナーの保険内容を確認してからシャッフルを組んで下さい。

【車両負担補助金の考え方】

配車お礼とは車の様々な償却に関してツアー全員が補填するお金です。

その額は償却に必要とされる金額よりも少ない額です。

あくまで補填です。

運転する苦労、ピックアップする苦労、車出しの責任、洗車費なんかは全く補填されていません。

大きな損失分と乗る人にも負担ならない額の折衷案にて決定しています。

償却対象・・・車両本体、スタッドレスタイヤ、オイル、保険

上記の保険には任意保険&車両保険も含まれます。

中でも車両保険に加入すると保険料がアップしますがその上昇分も車両負担補助金の一部だとお考え下さい。

償却が少ない人や配車お礼は必要ないとお考えの方もおられますが、その場合は「持ち寄り」などにて調整してください。

☆2. 乗車される方へ

【他人の車に乗ること】

その車には車のルールがあって、それはASPがこうしてくださいというのではなく、当然持ち主の考え方で決まります。乗られる方はあくまで他人の大切な持ち物だと考え、乗車の際はゴミを持ち帰る。靴は綺麗にする。などを考えて下さい。

特にスキー靴やボード靴での乗車には車出しの方に可否を確認してください。

【他人の車を運転すること】

ASPでは雪道以外の運転を乗車メンバーで交代してゲレンデへ向かいます。

事故や違反などに関してはサークルとして何も出来ません。

すべて『自己責任』となります。中には他人の車を運転中にも有効な保険がありますので、運転する場合は最低限、乗車する車の保険と自分の保険の確認をしてください。

乗車される人は仲間ですが他人です。家族を乗せている以上の安全意識を持って運転願います。

当然のことながら、運転予定当日の飲酒は絶対に止めてください！！

出発日・最終日とも完全禁酒となります。もちろん最終日の昼時も不可です。

車出しメンバー・運転要員でこの禁酒が守れない人は、強制退会の対象となりますので周知徹底をお願いします。

ASPでは法定速度以上の速度は当然ご遠慮願っています。

全車法定速度で走りますので速く走っても意味ありません。

速く走るよりもゆっくり交代で寝ながら行く方が安全ですし、なにより楽です。

【運転できない人】

運転できない人は積極的に助手席に乗り運転手さんに断ってから眠るようにしてください。

基本助手席も睡眠可能ですが一言お願いします。

またどうしても会話が必要であると運転手に言われたら、運転する方に安全運転が出来る範囲で居眠り防止のために話し掛けて下さい。

そして助手席も運転できない人で順番に変わって行ってください。

運転ができないからといってずっと起きておく必要はありません。

ずっと最後部で寝続けるような事だけはないように願います。

【シートベルト】

運転者は全搭乗員へシートベルトを着用させるように指示して下さい。

万一、事故が起こった場合、後部座席の搭乗者が車外へ投げ出されたり、前席やフロントガラスへ激突しての死亡例が多発しています。

運転席・助手席はもちろんですが、後席のシートベルト着用も道路交通法で規定されています。

高速道・一般道は関係なく搭乗員自ら着用するよう心がけてください。

(高速・有料道は罰則有りの義務規定、一般道は罰則無し of 努力義務規定)

【チャイルドシート】

子供参加可のツアーにて、6才未満の保護者はチャイルドシートを用意すること。

車出しの人とシート形状を事前に確認しておき装着可能か？ツアー前に十分チェックしておいてください。

(ISOFIX 規格対応シートか etc.)

チャイルドシートを用意していない場合、用意していても車に装着出来なかった場合、当然ですが車出しの人は乗車拒否をしてください。(保護者が率先して車出しの人と事前確認をしておいてください)

☆3. 車出しをされる方へ

【車出しをされる方の考え方】

車出しをすると言う事は、その車で起こる事由に関して責任を持つと言う事です。

その車が安全にツアーを終了できるかどうかは貴方の行動が大きく影響します。

普段の整備、ツアー中の管理などの大変さを理解して車出し可否の判断をして下さい。

また一般車両保険に入っていない場合は、最悪時、被害の賠償を受けることが出来ない場合も想定して下さい。

運転者(加害者)に賠償の支払能力がある場合でも一般的社会通念を逸脱した過大な請求をした場合は示談終了後、ASPとして強制退会の対象となります。

【シーズン前/シーズン中の奨励事項】

手間も費用もかかる事ですので強制はしませんが、自走・車出ししていただく予定の方は低年式過走行車・高年式車に関わらず、シーズン前/中に一度点検をお願いします。

出来れば、ディーラーや専門業者による本格的な点検整備をお願いしたいですが、最低限、定期点検やタイヤ交換時の基本的な点検だけでもお願いいたします。

また、各自利用可能な各種ロードサービスの連絡先を再度ご確認ください。

最も有名なものは

JAF … 連絡先: #8139 もしくは 0570-00-8139 (全国共通)

ですが、最近はロードサービス付き車両保険に加入されている方も多と思います。

出来れば、連絡先と登録内容を記載したメモを常備しておく、有事の際、他のメンバーがロードサービスに連絡する事も出来ます。

※ちなみに JAF の場合、加入して無くてもビジター料金でいつでも誰でも受けられます。

加入しているロードサービスの連絡先が不明の場合は、こちらを利用する事も出来ます。

【車内ルールについて】

ゲレンデに行くのですから当然、車内は汚れます。車内で食事をするのも当然発生します。まず、そういうのが苦手な人は遠慮なく乗車の方に伝えてください。

出すならある程度汚れるのは仕方ないと思ってください。

参加表明の車可否の中に車内ルールという問い掛けがありますので遠慮なく記入願います。食事禁止などを予めお伝え頂くと配車の選定時に考慮できます。

【法定速度を守ってもらうこと】

自分が運転をする場合は当然ですが、交代要員の方の速度に関しても必ず注意してください。未熟な運転技術の方に対しても注意願います。無理だと判断すれば運転要員から外してください。帰路もあるので到着時に幹事までお知らせください。運転が下手な交代者には積極的に注意願います。

【休憩について】

休憩は定期的にとってください。高速走行時間を運転交代の人数で割るとおおよその休憩時間とSAが判りますので計画願います。あくまで休憩時間であり、お土産を買う時間ではなく他の車の人としゃべる時間でもないので、休憩が終わると速やかに出発願います。

☆4. その他注意事項

【到着時間】

往復路とも到着時間に各車ある程度差が出ますがASPでは法定速度で走ることを徹底します。それでも遅れる場合は休憩時間の取り過ぎか速度内でも遅すぎです。速過ぎるのは大問題ですし、遅すぎるのも大問題です。

1台の到着時間のズレが全車に影響しますので、到着時間に対しては急がず、遅れずをお願いします。

【雪道の運転】

高速道路内でも下道でも雪道に入れば車出しの方が運転してください。大雪などで相当雪道の距離が長い場合は自分が運転し続けるよりも交代して貰った方が安全だと判断すれば最後の手段として交代要員で雪道運転可能の申告をしている方をお願いしてください。お願いされた方は道の状況を考慮して責任ある判断をして下さい。申告よりもその時の状況により自分の運転が危険だと判断したら遠慮無く断ってください。

誰も運転する人がいなくなった場合はPA・SA等で長時間の休憩をして疲労回復に努めてください。その場合、幹事さんにその趣旨連絡して到着が遅れる説明をして下さい。

【事故に関して】

「ASPでは幹事もサークルも事故に関して何も責任が取れません。」

あくまで運転手の責任になりますので車出しの方、交代要員の方は自分の技術と体調などを考慮して運転してください。

車出しの方はその車の運転要員を一番安全な順番で決めてください。

運転要員は体調や道の状況で交代可能の申告をしても断るべき時は断ってください。

車出しの人が長時間1人で運転するよりも自分が代わって運転する方が危険だと判断すれば遠慮なく運転を断ることも大事です。

その場合は幹事に連絡し交代要員の増員を申し出てください。

事故後の損害賠償などの示談でも、ASPでは幹事もサークルも一切干渉しません！

当事者間で双方納得がいくまで交渉をしてください。

「ASPでは事故に関する全ての事象に対して免責する事をここに明記します！」

☆☆【事故マニュアル】☆☆

当然の事ですが、事故や車両トラブルは起こらないのが一番です。

例えば走行中に異常を感じたら、幹事に連絡の上、最寄りのディーラー・GSなどで点検してもらいましょう。

多少予定が遅れるかもしれませんが、あくまで安全優先をお願いします。

また周知の事実ではありますが、事故・車両トラブル発生時の基本的な動きを再確認の意味で記載します。

●「ハザードランプを点け路肩に停車する」

この時、後続車に追突されても車道に飛び出さないようハンドルは左に切っておきます。

●「車内には残らずガードレールの外へ退避」

車両から出る際は、必ず左のドアから出ましょう。荷物は最小限、上着は必須です。

●「発炎筒、三角停止版で後続に知らせる」

設置する際は必ずガードレールの外を移動してください。

●「nexco(高速道路の場合)、加入しているロードサービス(JAF など)に連絡」

高速道路の場合、nexco への連絡は路肩の緊急電話で連絡できます。

ロードサービスの連絡先は事前に確認しておきましょう。

トラブル対応に関して有識者の方は、車出し・ドライバーさんに協力し、速やかな対応をお願いします。

基本的な考え方は、事故によってツアー全体に影響を少なくするように、最小限でツアーから切り離します。

1台でも事故が起これば全車、幹事連絡により最寄りのSAか道の駅などに一旦集合して、荷物の入れ替えをします。

――軽い事故――(怪我人なし)(車故障あり)

事故を起こした車の運転者と持ち主以外を他の車に詰め込みます。

上記の2人は警察に事故届提出。JAF・保険代理店などに連絡して処理。

上記2名以外はツアー続行します。

---大きい事故---(怪我人あり)

幹事カー乗車メンバーを他の車に詰め込みます。事故車両乗車メンバーと幹事カーはツアー終了です。病院、警察の対応をします。

どちらも、損害等の問題は運転者責任となります。

事故によりツアーに参加できなくなったメンバーのツアー費は事故を起こした人に請求します。

参加者にもカンパをお願いします。あまりにも大きな額なら全メンバーをお願いします。

当然、サークルとしては他のメンバーに強制的にお金の徴収は出来ないのであくまでお願いするだけしか出来ません。

【事故による損害について】

ASPでは幹事もサークルも事故に関して何も責任が取れません。

車の持ち主、運転した人、損害を受けた人により解決願います。

示談交渉が難航しても免責を明記していますので干渉しません。

ただし、干渉しない程度の助言は可能です。

一般的社会通念を逸脱した過大な請求をされた場合は担当スタッフまでご相談下さい。

ASPでは事故に関する全ての事象に対して免責する事を明記していますがその結果については後日妥当なものだったのか？議論します。

(示談内容に干渉はしませんがASP内で事後検証はします)

ASPの場を借りて当たり屋などの犯罪まがいの行為が行われない為の事後検証だとお考え下さい。

【自動車保険使用による保険料負担】

基本的に事故による損害賠償は、事故を起こした運転者の保険を使用して下さい。

やむを得ず、車出しオーナーの保険を使用する場合は保険使用による保険料アップ分を計算して車出しオーナーに賠償して下さい。

正確な保険料アップ分の計算は現実的に不可能ですが、(同じ車両でも保険料は毎年更新される)その時の年間保険料を基本にして保険を使用したときと、しなかったとき、それぞれの場合で20等級に達するまでの総保険料を想定で計算。

その差額を免責として車出しオーナーへの基本賠償額とします。

この基本賠償額をもとに双方で示談交渉願います。

(当然、保険会社が設定(契約)している免責金額も加算されます)

新車など、翌年から保険料のアップが現実視される場合は取り敢えず、基本賠償額で示談し、後日(保険更新後)、アップされた保険料をもとに再計算し再示談交渉してください。

アップ分が少額の場合は「車両負担補助金」で吸収するなど配慮願います。

ただし、この再交渉は1年後のみとします。

(2年目以降は示談交渉が完了したものとみなし、双方に過不足があっても永久に請求・返済しない事を約束して下さい)

本項目はASPが示談交渉に干渉するものではありません。

「ASPでは幹事もサークルも事故に関して何も責任が取れません。」という免責事項を前提にして書かれています。

【緊急に帰阪】(家族に何かあったとか)

---車だし以外のメンバー----

ツアー終了とし、駅まで送迎し、それからは自費で帰阪。

--車だしのメンバー----

全員が他の車にて全員帰れる場合は、そのまま車にて帰阪。

不都合があれば車は貸し出し依頼。OKならば電車にて自費にて帰阪。

不可ならば乗車出来なかったメンバー(電車で帰阪)の交通費を半額ペナルティとして請求。

残りの交通費は全員で折半。

☆☆【運転マナー一覧】☆☆

☆車に乗せてもらう、運転する時のマナー

1 配車を組まれる方へ

1) 自走車による有料駐車場の乗り捨てや電車移動を積極的に活用して車出しの方の負担が大きくなるようにピックアップ回数を考慮して下さい。

【推奨ピックアップ回数2回】(自走車との集合を含まない)

2) 配車は自走車を効率的に活用してください。

事前ピックアップ、自走ピックアップを上手く活用して下さい。

自走車の方は運転交代を兼ねる場合が多いので、ピックアップは最低限でお願いします。

【推奨ピックアップ回数1回】

全体配車の中で自走車が2回以上のピックアップになる場合は、自走車の方のその後の運転交代には可能な範囲で配慮をお願いします。

3) 電車移動の方へのお願いは、車出しや自走の方では言い難いものです。

配車係りさんよりアナウンスしてください。

4) 基本的に逆走ピックアップは避けてください。

どうしても逆走ピックアップが発生する場合は、事前に車出し又は自走車の方に相談して下さい。

相談を受けた方は、自分に大きな負担がないと判断できる範囲で思いやりの気持ちで決めて下さい。

負担が大きいと判断した場合は、遠慮なく断り電車移動をしてもらって下さい。

2 車に乗せてもらう方へ

1) 配車が決まったら必ず自分から車出しの方や自走ピックアップの方に速やかにピックアップ場所を連絡願います。

メール送るのはピックアップされる方からです。

車出しの方のメールアドレスは配車係りより届く、配車連絡メールに記載されています。

自分の乗車する車を確認して速やかにメールをして下さい。

2) ピックアップ希望場所はピックアップされる人が最良の場所(駐車しやすい、安全である、分かり易い)を決めてピックアップして頂く人に素早く連絡願います。

ピックアップ場所は必ずしも自宅前とは限りません。

駐車しやすく安全で、分かり易い場所の指定をお願いします。

ピックアップする人の立場で考えて連絡をお願いします。

- 3) ピック関係の連絡には素早く返信をしてください。
- 4) 電車移動をお願いされたら早くその指示に従ってください。
- 5) 周辺道路の環境は把握願います。また次のピックアップ場所へのルートもある程度は把握願います。
幹線道路までの出方などは特に事前確認をお願いします。
- 6) 荷物は小分け願います。(電車移動の方は別)
電車移動の方のみ、キャスター付きバックの使用はOKです。
ただし、ピックアップしてもらう人に必ず事前連絡をお願いします。
- 7) 待ち合わせ時間には、すぐに乗車出来るように建物外で待機願います。
- 8) 靴の汚れは出来る限り除去して乗車をお願いします。
- 9) 下車時は自分の手荷物だけでなく、ペットボトルなどの飲み物類などの確認をお願いします。
- 10) 荷物の積み下ろしは車出しの方と協力して同乗者全員で行ってください。
また他の車が宿に到着した場合も、積極的にお手伝いをお願いします。
- 11) 乗車される時はあくまで他人の車である事を忘れず、感謝の気持ちをお願いします。

3 運転交代をされる方へ

- 1) 他人の車であることを理解し、自分の車以上に慎重で丁寧な運転をお願いします。
- 2) 走行速度は100kmを基準として流れに乗ってゆっくりと安全に、そして十分な車間距離を保って運転をお願いします
- 3) 助手席の方は基本的に睡眠して頂いてかまいません。
ただし、運転手が眠気回避のために会話が必要な場合は遠慮することなく「起きて話をしてください」と言って下さい。
その際、助手席の方は快く依頼を受けて下さい。
- 4) 運転中に眠たい場合は我慢せず、早めの判断をして下さい。
一番近いSA/PAに入って車を駐車して、顔を洗う、又は仮眠をとって下さい。
どうして無理な時は同乗者に状況説明して、運転交代をお願いして下さい。
予定時刻の運行より、安全を最優先して下さい。
- 5) 乗車メンバーが寝やすいように不必要なアクセルの加速・減速や、また過度の車線変更・急ハンドルなどは禁止します。燃費も悪くなります。
- 6) 運転前には必ず保険の確認をお願いします。
- 7) 家族よりも大切な他人が乗ってることを理解して、安全に安全を重ねての運転をお願いします。